

日常診療における漢方

公立中央総合病院

内科 土井翔太

2021年7月10日発行(毎月1回10日発行) 第58巻 第8号 ISSN 0025-7699 Medicina(Tokyo)

内科臨床誌 メディチーナ Vol.58 No.8

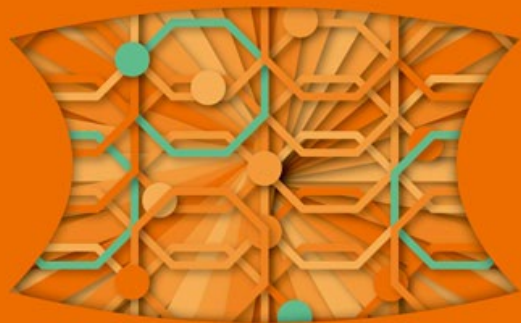
medicina

7
2021

特集

ジェネラリスト・漢方 とっておきの漢方活用術

企画 吉永 亮



連載

読んだら、ちよいと！ POCUSのススメ
ここが知りたい！ 欲張り神経病巣診断
目でみるトレーニング

医学書院

2025年10月10日発行(毎月1回10日発行) 第62巻 第11号 ISSN 0025-7699 Medicina(Tokyo)

内科臨床誌 メディチーナ Vol.62 No.11

medicina

10
増大号

特集

深掘り！ エッセンシャル 漢方

1対1対応の一步先へ

企画 榎尾 明彦

連載

日常診療で役立つ 皮膚科治療薬の選びかた・使いかた
ここが知りたい！ 欲張り神経病巣診断
ウェブサイトマナー入門 オンラインで診る準備、できていますか？
目でみるトレーニング

医学書院



- 漢方ってどんな時に役立つのか??
- どのように役立つのか?



漢方治療の 適応となる 4つの タイプ

タイプ1

漢方治療のほうが西洋医学的標準治療より優れているもの

- かぜの初期に葛根湯, 麻黄附子細辛湯
- インフルエンザの初期に麻黄湯
- 低気圧と関連する頭痛に五苓散
- BPSD に抑肝散
- こむら返りに芍薬甘草湯

タイプ2

西洋医学的標準治療と漢方治療の併用で効果が増強されるもの

- 片頭痛に対するトリプタンと呉茱萸湯の併用
- 膿性鼻汁に対する標準治療と葛根湯加川芎辛夷の併用
- 腹腔内手術後の大建中湯の投与

タイプ3

漢方治療の併用により西洋医学的標準治療の副作用が軽減できるもの

- 抗がん剤の副作用の食欲不振に十全大補湯, 補中益気湯
- 抗がん剤（イリノテカン）誘発性の下痢に半夏瀉心湯
- 抗精神病薬の口渇に対する麦門冬湯

タイプ4

西洋医学的標準治療が使えない状況にあるが漢方治療が有効であるもの

- アレルギーや副作用で標準的治療が行えない場合
- 高齢で標準的治療が困難な場合

漢方治療の良い適応

- 冷え症や虚弱など体質的な問題
- 入浴して温まると軽減する痛みなどの症状
- 雨や低気圧の接近で増悪する頭痛などの症状
- 女性の月経，出産，閉経と関連して出現する症状
- 検査では異常を指摘できない症状 (medically unexplained symptoms)
- 機能性ディスぺプシアや過敏性腸症候群などの機能性胃腸症
- 手術後の全身倦怠感，食欲不振や膨満感などの症状
- 感染症後の食欲不振・活気の低下，感染後咳嗽など急性感染症後の不調
- 加齢に伴って出現する頻尿などの症状
- 不眠，不安などのメンタルヘルス不調

- よく使われる漢方の紹介
- シーン、症候ごとに使用する漢方
- 気を付きたい副作用

- よく使われる漢方の紹介
- シーン、症候ごとに使用する漢方
- 気を付けない副作用

芍薬甘草湯

- 腓腹筋の痙攣（こむら返り）に即効性あり
- 西洋薬に匹敵する薬がほぼない
- 尿路結石や月経痛にも有効
- 甘草含有量が多く（3包で甘草6g）、1日2包までの投与が望ましい



大建中湯



- 術後イレウス予防や腸管機能障害に対して
明確なエビデンスを持つ数少ない漢方の一つ
- 慢性便秘症、便秘型IBSにも有効とされている
- 虚弱体質・慢性の腹痛 →小建中湯を併用
(合方：中建中湯)
- 高齢者のコロコロした便 →麻子仁丸
(注:大腸粘膜刺激作用)

麻黄湯

- 強い発汗作用、解熱作用 →悪寒、頭痛、関節痛などの症状に効果
- 汗が出始めたら症状が改善傾向にあるため、それ以上の内服は避ける
- 脱水に注意！

- インフルエンザ発症48時間以内に投与すると抗インフルエンザ薬と同程度かそれ以上の解熱効果あり



- よく使われる漢方の紹介
- シーン、症候ごとに使用する漢方
- 気を付けたい副作用

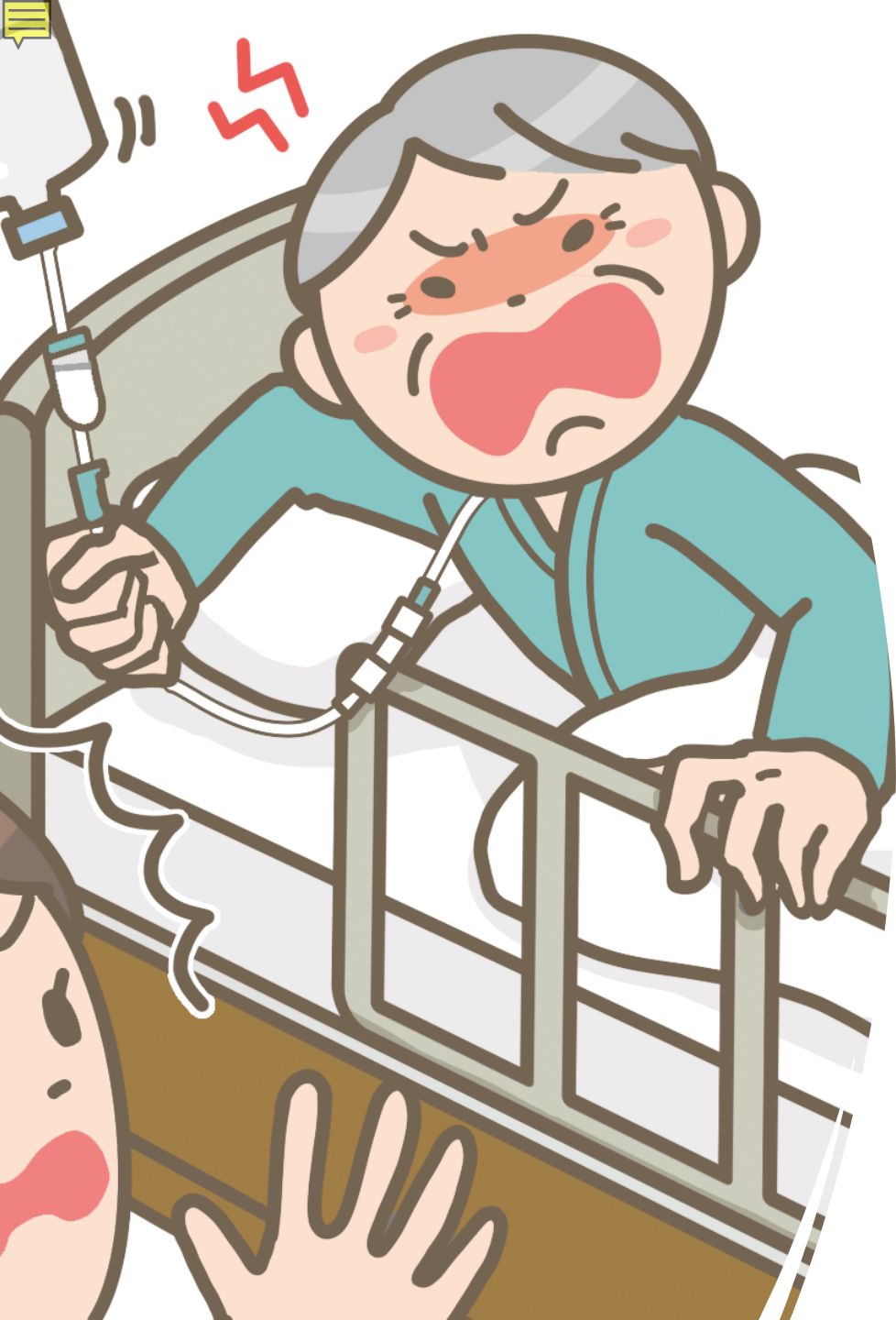


救急外来で使いたい

五苓散

- “水毒”という病態を改善させる
- AQPを阻害して水の移動を制限する
- 浮腫状態では利尿作用、脱水では抗利尿作用
→水分バランスをちょうど良い状態に

- 胃腸炎：炎症による腸管浮腫
- めまい、メニエール病：内リンパ腫の改善
- 低血圧時や二日酔いの頭痛：微小な脳浮腫を改善



せん妄（病棟）で 使いたい

<過活動型せん妄>

抑肝散

- 急激に変化する感情失禁、興奮して眠れない、イライラする
→神経の興奮を抑える
- 「怒り」があれば最初に考慮してよい
- 認知症患者のBPSD（興奮、易刺激性、脱抑制）にも有効

せん妄（病棟） で使いたい

<低活動型せん妄>

①釣藤散（ちょうとうさん）

- 食欲低下、倦怠感、意欲低下に有効

②加味帰脾湯（かみきひとう）

- おどおど、びくびくしている不安や焦燥感のある低活動型



せん妄（病棟）で使いたい

<低活動型せん妄>

③補中益気湯

- 倦怠感に対して用いる代表的な漢方
 - 虚弱体質、食欲不振、下痢などある人に
- 外来診療でも使える
- 風邪が遷延、風邪ひきやすい人、アトピー性皮膚炎、男性不妊
 - COPD患者に6か月内服で感冒罹患回数の有意な減少あり

一般外来で使いたい

< 食欲不振 >

- ①六君子湯：胃もたれ、胃の拡張能が障害されている病態
- ②半夏厚朴湯：のどのつかえ感、胸部不快感、神経質
- ③人参湯：痩せて心窩部のつかえ感

< 咳嗽 >

- ①麦門冬湯：乾性咳嗽
- ②肺清湯：湿性咳嗽、特に炎症の強い黄色～褐色痰

A faint background illustration of a doctor in a white coat and stethoscope, and a patient lying in a hospital bed. The doctor is on the left, and the patient is on the right. The scene is set in a room with a window and a desk.

在宅医療で使いたい

< 尿路感染症を繰り返す予防 >

猪苓湯（ちよれいとう）


- 尿路感染症を予防する西洋薬はない。代表的な漢方
- 利尿作用（膀胱内を洗い流すイメージ）と軽度の抗炎症作用
- 甘草も含まない点で長期利用も安心。利尿作用で浮腫も軽減

- よく使われる漢方の紹介
- シーン、症候ごとに使用する漢方
- 気を付きたい副作用



副作用

①偽アルドステロン症

- 甘草に注意！
 - 1日2.5g以上の甘草内服、高齢、低Alb、便秘、D-Bil高値が発症リスク因子
 - 甘草投与後、2週間後をめぐりに血液検査でKを見る
- 

副作用

②肝障害 ③間質性肺炎

- 黄芩に注意！
- 頻度は0.27～1.0%程度で稀ではあるも注意は必要。

④腸間膜静脈硬化症

- 山梔子に注意！
- 山梔子は右側結腸で吸収され、腸管壁および静脈に繊維沈着

質問

- 高齢者が多い地域でプライマリケアに従事している先生方が多いと思いますが、実際に漢方を使用されるときどれくらいの頻度で処方されていますか？
- 実際漢方での副作用が出現した症例などありますか。